



お世話になりました 2/19

ボランティアさんへの感謝の会

学校の教育活動や児童の安全確保、そして休日の地域活動で子どもたちのためにご協力いただいているボランティアの方々をお招きし、感謝の会を催しました。



日頃の活動に対する感謝の気持ち伝えるために、各学年の教室で一緒に給食を味わっていただいた後、児童代表によるお礼の言葉や鉢花・粗品をお贈りしたりしました。こうした行事を通して、見守り支えてくださる人たちがいることへの安心感と感謝の心が育てられたらと考えています。

安全対策会議

感謝の会の後、安全ボランティア関係者の方々に残っていただき、安全対策会議を開きました。



主として通学路周辺の状況や児童の登下校について話し合いが行われたほか、地域での子どもたちの生活についても話題となりました。

あいさつがよくできているという褒めの言葉をいただく一方で、公民館のよくな公共の場での過ごし方がよくできていないというご指摘もいただきました。公共の物や場の使い方については、日頃から感じていたことでもあり、各学年に応じた再指導を促したところです。

表現活動交流会 2/25

この日、今年度二回目の國學院栃木短期大学生との表現活動交流会が開かれました。童歌を使った手遊びに、

最初は難しそうにしながらも、短大生にマンツーマンで教えてもらい、とても嬉しそうでした。続いて琴を使った音遊びも、子どもたちの自由な発想に新たな発見がありました。

この日は、子どもたちにとっては楽しいひととき、短大生にとっては貴重な学びの体験の場になっただけでなく、私たち教職員にとっても、日頃の教育活動を振り返り、明日からの授業の工夫へのヒントを得られる機会となりました。



六年生を送る会 3/5

この日は、登校班やあじさいっ子グループで今までお世話になった六年生と少しでも楽しい思い出になるようにと、五年生が企画・準備・運営にと活躍してくれました。

キックボールによる的当てやジェスチャー他のゲームを共に楽しみ、お礼の言葉と写真を載せた色紙をプレゼントしました。

五年生は、こうした活動を通して、最上級生になる自覚と力が育つてくれるものと思います。

他の学年も、当該学年相応の力がついたか、進級するにあたっての心構えを育てる機会とするよう促しました。

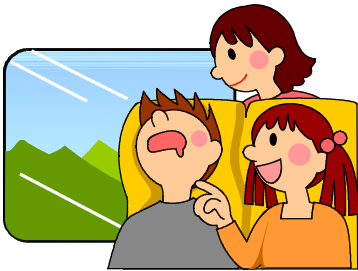


六年校外学習に同行して

先月二十一日、東京方面への六年校外学習に同行した。前々日の公共心に関する指摘のこともあり、朝のあいさつでは、日頃言い続けてきた「共生」を念頭に考えて行動しよう話した。

往路の車中でのこと、男子の一人が照れくさそうにしながらも老婦人に席を譲ろうとしていた。降車駅を告げながら遠慮がちであった婦人も嬉しそうに譲られた席に座った。このことがきっかけとなったかどうか分からないが、帰路につくまで同じような場面が何度か見られた。

前日の担任の指導、当日朝の校長あいさつもあるが、素直に受け入れ、勇気をもって実行できた子どもたちが拍手を送りたい。



校長のつぶやき

感謝の心

三月五日放課後、六年生と職員のお別れ会が行われた。かつての謝恩会に代わるものだ。

児童代表の言葉の中に職員一人一人への感謝の言葉があった。先月のボラントニアさんへの感謝の会、午前中の六年生を送る会に続くこのお別れ会。子どもたちの中に感謝の心が芽生え育つことを願い、感謝の心が芽生えく耳を育て、自分自身を成長させることにつながるという趣旨の話をして礼を述べた。
年度末の多忙な時期ではあるが、職員一人一人にとって心温まるひとときとなったに違いない。

